

就任のご挨拶



学院長 **光永 尚生**

創立100周年を新たな飛躍の年として迎えるにあたって

4月1日付で学院長を拝命した光永尚生です。どうぞよろしくお願いいたします。
本学院は2026年の創立100周年まで、2年余りとなりました。改めて、これまでの歩みを神様に感謝し、これからの期間の準備を進めてまいり所存です。現在は、2026年10月のゴールに向けて、学院内外の皆さまには今まで以上に活性化をお願いしているところです。具体的には、募金委員会(林田博文委員長)、行事委員会(松本充右委員長)、記念誌委員会(綾垣和好委員長)、教育環境整備事業委員会(松本充右委員長、鶴山克郎委員長)、施設整備事業委員会(櫻井和夫委員長)の役割を担っていただいております、更に全体を取りまとめる100周年事業計画実行委員会(光永尚生委員長)の活動によってスピーディーに各委員会の連携を図っております。

学院長として、全ての委員会に可能な限り陪席させていただき、委員会間の調整、連絡、統合などの働きを担わせていただく所存です。九州ルーテル学院の100年の歩みが、新たな100年に向けた飛躍の年となるように、「夢を持ち、何かに熱中し、感動のある学院」への第一歩となれば幸いです。皆様のご理解とご協力を、何卒、宜しく願いたします。



九州ルーテル学院
インターナショナル小学部
校長 **上妻 薫**

今年4月より、インターナショナルスクール小学部の校長を務めることになりました上妻薫と申します。

本校の開校にあたっては、様々な方から多大なご支援をいただき、無事に小学部を開校することができました。ニュース等で開校に向けた動きが報道されるなか、どんな先生方がいらっしゃるのだろうか、子どもはどれくらい入学してくるのだろうか、期待と不安が混ざった気持ちでございました。

そして、外国籍の先生方含め17人の教職員と児童30人を迎えることができました。熊本で初めてとなる学校法人立のインターナショナルスクール小学部が開校したことは、画期的なことであったと思います。学院の方々のご尽力に敬意を表するとともに、この学校を継続発展させていくことへの重責を感じております。

4月に開校して以来、学院の生徒や学生、教職員の皆さんが、子どもたちをととても温かく迎え入れ、笑顔で接してくださっているので、子どもたちの安心につながっております。改めて感謝申し上げます。

開校して間もないこともあり、学院全体の支えがあって小学部が成り立っております。

今後とも、皆様のご助言ご指導のもと、日々を過ごして参りたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

聖書の言葉



「神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。」

(ヨハネによる福音書 14 章 1 節 b)

「神を信じる」という言葉はよく「神の存在を信じている」という意味で使われることが多くあります。しかし「友人を信じる」と言ったときには「友人の存在を信じる」という意味にはならないはず。神様に対しても同じことが言えるでしょう。このことからわかるのは、私たちにとって目に見えない相手に信頼を置くことがいかに難しいかということです。だからこそ神様は一人の人間イエスとしてこの世に来てくださったのです。

私たちは聖書を「自分とは関係のない、限られた人だけが読む言葉が納められた本だ」と思っていないでしょうか。

そうではありません。聖書の言葉——イエスの言葉は、あなたの隣で生きておられる神様からの呼びかけなのです。

ある牧師は聖書を「神様からのラブレター」だと表現しました。私たちが誰かに愛を込めて手紙を書く時、相手に対する信頼と愛を込めて書くと思います。神様もまたそのように私たちに語り掛けようとしておられます。そのことを私たちが信じる時、聖書の言葉は昨日よりもう少しだけ、身近な言葉に聞こえてくるかもしれません。

中高チャプレン **野口 和音**

Contents

学院長・インター小学校長就任挨拶	
聖書の言葉	1
新任教職員代表挨拶	
大学・保育園からのお知らせ	2

中学・高校からのお知らせ	
こども園からのお知らせ	3
インター小からのお知らせ	
2023年度決算報告	4

新任教職員のご紹介

教職員代表ご挨拶



九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部
PYP コーディネーター Jeremy Guckert (ジェレミ グケート)

初めまして! Jeremy (ジェレミ) です! J.J.と呼んでください。

私は2012年に日本に来て、茨城で子どもたちに英会話を教える教師として働き始めました。教えることがとても楽しかったので、新しい挑戦を求めて東京に引っ越しました。そこではインターナショナル幼稚園で働き、IBプログラムに出会いました。3年間働いた後、さらに高い基準を目指して、東京にある有名なIBスクール、AOBAに入りました。そこで6年間、幼稚園の先生、そしてプログラムコーディネーターとして働きました。

このたび、九州ルーテル学院で新しい旅を始め、小学部を開校するという大きなプロジェクトに参加できたことを嬉しく思います。私と小学部のスタッフ、そして児童たちをキャンパスに迎えてくださり、ありがとうございます!

教職員代表ご挨拶



ルーテル学院中学校・高等学校
チャプレン 野口 和音 (のぐち かずね)

今年度よりルーテル学院中高のチャプレンとして就任しました、野口和音と申します。チャプレンとは学校付きの牧師のことですが、実は牧師という職業は、自分で働く場所を選ぶことができません。教会や学校からお声がかかり、それを受けるか今の場所に留まるか、という選択はできますが、必ずしも行きたいところに行けるとは限らないのです。私自身、熊本で生まれ育ち、九州学院高校を卒業して早17年、不思議なご縁で故郷に帰ってくる事ができるとは思いもしませんでした。ましてや、ルーテル教会が立てたもう一つの学校・ルーテル学院での働きが与えられたことには、神様の導きを感じずにはられません。「感恩奉仕」の学院標語を常に胸に留めつつ、心に響くわかりやすい聖書のメッセージを届けられるよう、尽力してまいりたいと思います。

学 院 長 / 光永尚生

法 人 / 赤星浩一(職員)

大 学 / 本田裕紀(人文学科 教授)、藤原真路(人文学科 准教授)、山口倫子(心理臨床学科 准教授)、恒松聡一郎(心理臨床学科 助教)、伊東啓江(学生支援課長)、

田中健久(職員)、西本愛(職員)

保 育 園 / 加藤麻紀(保育士)、森万純(保育士)、根来うらか(職員)

中 高 / 野口和音(チャプレン)、伊津野悠(教諭 養護)、岩下勇平(教諭 社会)、Steffen Riley(J3)、River Hodge (GLD学習支援員)、五十嵐未来(職員)、森香純(職員)、中村良子(職員)、岩崎大那(教諭 技術)、中条萌々香(教諭 芸術)、森田美七海(教諭 技術)

こども園 / 今村美晴(教諭)、渡辺幸二(技労職員)

インター小 / 上妻薫(校長)、Jeremy Guckert (PYPコーディネーター)、Veronique Booysen、Joshua Foley、Catherine Halliday、Meral Korkut、Joy Yecla (ホームルームティーチャー)、Amy Okamura (サポートティーチャー)、丸谷美章 (UOIティーチャー)、安達均 (チャプレン・教諭 宗教)、黒藤純子(教諭 国語・図書司書)、橋本須美子(教諭 国語)、モハール由香里(教諭 図画工作)、盛田靖子(教諭 音楽)、岩切おおり(事務課長)、堀尾佑加(職員 養護)

KLC子どもサポーター

九州ルーテル学院大学

KLC子どもサポーターは、大学生が、地域の小中学校や特別支援学校に向いて学習や生活の支援を行うボランティア活動です。2024年7月時点で、学科や専攻を問わず160名を超える学生が登録しており、地域からの要請に応じて活動しています。2023年度は、24校からいただいた派遣依頼に対して、108名の学生がのべ568回の支援活動に従事しました。

大学の地域連携推進センターがバックアップし、学生の相談に乗ったり、関わり方を一緒に考えたりしながら、児童生徒も大学生も笑顔になれるように応援しています。これからも感恩奉仕のモットーを胸に、取り組みを充実していきたいと思っています。

地域連携推進センター長 増本 利信

【参加学生の声】

私は、小学校特別支援学級でのサポートを行ってきました。小学校現場では、授業での個別の支援をはじめ、昼休みに児童と一緒に遊ぶこと、体力測定や避難訓練等の行事と一緒に参加しながら児童の補助を行うこと等を行いました。活動の中で私が一番印象に残っていることは、児童の得意なことを活動に取り入れながら、苦手なことに対しては支援を行い、チャレンジを後押しすることで、少しずつできるようになっていく児童の姿を見られたことです。できた喜びを分かち合う経験をする事ができ、教師になった際にもこの経験を活かして、児童の苦手に寄り添い、チャレンジを後押しすることを大切にしていきたいです。

『九州ルーテル学院大学附属くろかみ保育園』という園名に変わりました!

2024年4月に、これまでの『九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園』から園名を変更しました。

また、在園児、卒園児、保護者、職員の願いでもありました「0歳児から5歳児まで(就学前まで)のお子様」を受け入れることができるようになりました。



新たな園名となり新スタートです!



4月からの変更にあわせて、新しいクラス『ゆり組、すずらん組』が誕生しました。進級した子どもたちも新しいクラス名に心弾んでいます。0歳児から5歳児までのお子様が発達するようになり、異年齢との交流が深まり、互いに学びあいながら成長していくことでしょう。

保育園は子どもの健やかな成長を願い、保育・教育を担う場です。これから小学校への架け橋としての役割も求められます。

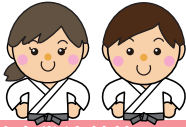
子どもたち、保護者にとって「たのしいね、おもしろいね、ワクワクするね…」という心豊かな経験を積み重ね、将来の礎を築いて参ります。

◀黒髪校区子育てネットワーク「伝承遊び」体験

九州ルーテル学院大学附属くろかみ保育園

中学体育大会 5月18日(土)

真夏を思わせるほどの暑さの中、中学生だけの体育大会が開催されました。今年のテーマは「百花繚乱～魅せろ！ルーテル魂～」。赤、青、黄の3団に分かれ、それぞれの団が一致団結し、学年の垣根を越えてまさにお互いの魂をぶつけ合いました。クラス対抗リレーには先生・保護者の合同チームも参加するなど、みんなが笑顔になれる競技もありました。結果は赤団が優勝。しかし、それまで練習してきた過程、準備にあたった生徒会、体育委員会の活動を通して、それぞれが大きく成長できた一日となりました。



全国高校総体(インターハイ)出場



少林寺拳法競技

(県大会2位以上に入賞し、出場権獲得)

女子単独演武	川本景子(1年)
男子単独演武	中島蓮央(3年)
女子組演武	田口喜来(3年)、岩下和佳奈(3年)
男子組演武	福永雅斗(3年)、坂口駆(2年)
女子団体演武	田口喜来、岩下和佳奈、片岡景(3年)、城沙耶(2年)、佐藤萌香(2年)、川本景子、原あかり(2年)、木下久真梨(2年)
男子団体演武	福永雅斗、中島蓮央、坂口駆、木下翔太(2年)、松田悠成(1年)、新村真輔(1年)

陸上競技

(南九州大会において上位入賞し、出場権獲得)

女子1500m・女子3000m	古木愛莉(3年)
女子800m	杉安一葉(1年)

水泳競技

(九州大会において標準記録を突破し、出場権獲得)

男子200m個人メドレー	安井悠斗(2年)
男子200m自由形	中村満幸(3年)
男子1500m自由形	
男子400m自由形	
男子4×200mフリーリレー	安井悠斗、中村満幸、緒方茉旭(3年)、阪本一路(1年)
男子4×100mフリーリレー	安井悠斗、中村満幸、緒方茉旭、淵田凌誠(1年)

ソフトテニス競技

男子団体	(県大会優勝、九州大会準優勝)
男子個人	野中翔太(3年)・坂本旭(3年) (県大会優勝) 上村光希(3年)・和田楓(1年) (県大会第5位)



そのほか、九州高校総体、熊本県高校総体に数多くの生徒が出場し、好成績を収めました。紙面の都合上すべてを紹介しきれないことをお詫び申し上げます。本校公式Facebookでも結果を報告しています。

～こども園の様子～



今年度、35名の園児が入園し、現在は146名が在籍しています。園では、毎日子どもたちの賑やかな声が響き渡っています。

園庭は、様々な虫の宝箱。春は、どの学年もツマグロヒョウモンの幼虫を見つけて、蝶になるまでお部屋で育ててみました。毎日虫かごを見つめては、『サナギになったかな？』『蝶になったかな？』と興味津々の子どもたちです。年長さんはツマグロヒョウモン研究室を作り、しっかりと成長過程を記録中！



ダンゴムシに夢中の1歳児の男の子。2歳児クラスのお兄さんにダンゴムシを見つけてもらい、カップに入れて…。嬉しくてたまりません(^^)



雨の日の保育室。新聞紙を使って思いっきり遊ぶ子供たちです。雨のように上から降ってくるたっぷり新聞紙に、自然と笑顔がこぼれます。



2024年4月開校

入学式 4/6(土)



2024年4月1日にインターナショナルスクール小学部が開校。4月6日には記念すべき第1回目となる入学式を挙行了しました。1年生から6年生まで合計30名の新入生を迎えました。フランス、フィリピン、アメリカ、南アフリカ、イギリス、トルコ、カナダ、日本等、様々なバックグラウンドを持つ教職員が子どもたちの学びをサポートしていきます。

スポーツデイ 6/8(土)



英語版のラジオ体操でスタートしたスポーツデイ。たくさんの保護者の方にご来場いただき、玉転がしや、しっぽとり、お玉で水を運ぶWater relayなど様々なプログラムを楽しみました。最後には保護者手作りのメダルが子どもたちに手渡され、子どもたちは世界で一つのオリジナルメダルを胸に、とても誇らしそうな顔をみせてくれました。

授業参観 7/6(土)



この日はEnglish, Math, UOIクラスの授業参観を実施しました。UOIはUnit of Inquiry(探究の単元)と呼ばれ、子どもたちが自ら問いを持ち“探究”する、インター小の中心ともいえる授業です。1年生は自分のまわりにあるルールや、自分を支えてくれる人たちについて学び、いつも支えてくれている保護者にThank youカードを渡しました。

インターナショナルスクール小学部

◆2023年度 決算報告◆

2023(令和5)年度の決算は表のようになりました。

より詳しい報告は学院のウェブサイトの「情報公開」の「財務報告書」と「事業報告書」をご覧ください。

【概要】事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当します。基本金組入前当年度収支差額(経常利益に相当)は約580万円となり、前年度決算より約9,200万円の減少となりました。減少の主な要因はインターナショナルスクール小学部設置に伴う管理経費の増加です。

その他、中高にゼロトラストの環境を構築するなど教育環境整備も計画的に実施しております。収入の基礎となる園児・児童・生徒・学生の募集は順調です。

このようにして、皆さまからの校納金は確実に教育の改善と財務体質の強化に活かされていることを、感謝してご報告いたします。

事務局長 櫻井 和夫



貸借対照表

2024年3月31日現在(単位:千円)

科目	本年度末
固定資産	4,923,669
有形固定資産	4,580,221
土地	1,494,760
建物	2,131,891
構築物	208,189
教育研究用機器備品	138,596
管理用機器備品	15,749
図書	479,269
車輛	172
建設仮勘定	111,597
特定資産	312,138
その他の固定資産	31,309
電話加入権	2,424
通行権	2,800
有価証券	4,550
出資金	1,023
敷金	110
ソフトウェア	19,992
長期前払金	411
流動資産	1,036,332
現金預金	880,297
未収入金	141,818
前払金	13,158
仮払金	1,059
資産の部合計	5,960,000
固定負債	809,918
長期借入金	523,798
退職給付引当金	276,091
長期未払金	10,029
流動負債	335,002
短期借入金	72,998
未払金	127,440
前受金	106,977
預り金	25,769
仮受金	1,817
負債の部合計	1,144,919
基本金	7,350,277
第1号基本金	7,187,277
第4号基本金	163,000
繰越収支差額	▲2,535,196
翌年度繰越収支差額	▲2,535,196
純資産の部合計	4,815,081
負債及び純資産の部合計	5,960,000

※千円未満四捨五入の為、各項目の合計欄とは一致しない。

事業活動報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで(単位:千円)

科目	決算額	
教育活動収支	学生生徒等納付金	1,333,125
	手数料	23,797
	寄付金	19,068
	事業活動収入の部	770,354
	経常費等補助金	49,255
	付随事業収入	113,353
	雑収入	2,308,951
	教育活動収入計	1,541,767
	事業活動支出の部	557,587
	人件費	216,583
教育研究経費	1,070	
管理経費	2,317,007	
徴収不能額等	▲8,055	
教育活動支出計	▲8,055	
教育活動収支差額	▲8,055	
教育活動外収支	事業活動収入の部	31
	受取利息・配当金	31
	教育活動外収入計	2,564
	借入金等利息	2,564
事業活動支出の部	2,564	
借入金等利息	▲2,533	
教育活動外支出計	▲2,533	
教育活動外収支差額	▲2,533	
経常収支差額	▲10,588	
特別収支	事業活動収入の部	38,030
	その他の特別収入	38,030
	特別収入計	21,664
	事業活動支出の部	21,664
資産処分差額	21,664	
特別支出計	16,366	
特別収支差額	16,366	
[予備費]		
基本金組入前当年度収支差額	5,778	
基本金組入額合計	▲178,435	
当年度収支差額	▲172,657	
前年度繰越収支差額	▲2,362,539	
翌年度繰越収支差額	▲2,535,196	

(参考)

事業活動収入計	2,347,012
事業活動支出計	2,341,234

※千円未満四捨五入の為、各項目の合計欄とは一致しない。